

ブナ種子10年間の貯蔵に成功！

日本の様々な場所で、苗木を植えてブナ林を再生する取り組みが行われています。ブナには結実の豊凶があり、豊作年の間隔が5～7年と非常に長いという特性があります。このため毎年種子を必要なだけ確保することが難しく、苗木を安定生産する上で大問題でした。

1997年から道南支場で開始したブナ種子貯蔵試験の結果、最長10年間の保存ができることが明らかになりました(図-1)。これは種子を室温20℃で3日間自然乾燥させ、その後、密封して家庭用の冷蔵庫のフリーザー(-20℃)に保存するだけ、という大変簡単なものです。

山に植える苗木は、環境適応性や生物多様性保全の観点から地元産であることが望まれています。しかし、ブナなど広葉樹は、苗木の“地域間移動”が起こり、問題となっています。たとえば、長野県産や秋田県産のブナ苗木がはるばる北海道まで運ばれていることもあります。

ブナ種子で10年間の長期保存が可能になり、地元産種子で安定的に苗木を生産できる可能性が高まったことは、郷土の森を地元のブナで再生する上で大きな前進といえるでしょう。

なお、林業試験場では北海道南部のブナの豊凶予報もホームページ(<http://www.hfri.pref.hokkaido.jp>)に発表していますので、併せてブナ苗木の生産に役立ててください。

(道南支場)

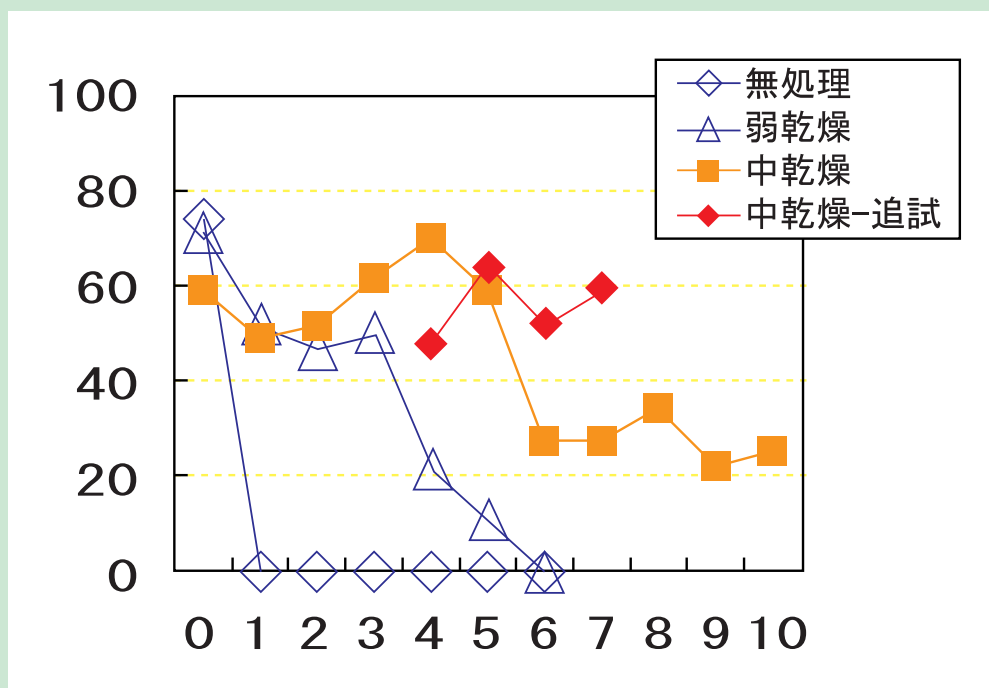


図-1 冷凍貯蔵したブナ種子発芽率の推移

無処理(乾燥なし:種子の含水率30%)、弱乾燥(10℃で3日間自然乾燥:含水率11%)、中乾燥(20℃で3日間自然乾燥:含水率6%) 中乾燥-追試(“中乾燥”と同条件で行った追試験の結果)

林業試験場 本 場 TEL 0126-63-4164 FAX 0126-63-4166
 道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
 道東支場 TEL 0156-64-5434 FAX 0156-64-5434
 道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
 ホームページ <http://www.hfri.pref.hokkaido.jp/>

発行年月 平成21年12月
 発行 北海道立林業試験場
 〒079-0198 美幌市光珠内町東山